

資料 2

申込書の書きかた

15ページの記入例を参照してください。

- ① 市営住宅名の欄に応募する住宅及び部屋番号「**牧落住宅108号**」と記入してください。
- ② 申込み日を記入してください。
- ③ 募集種別の欄は、一般の左の口にチェックをしてください。
- ④ 押印の無いものは、受付できませんので注意してください。
- ⑤ 住宅に入居しようとするかた全員（申込者も含む）を記入してください。
- ⑥ 申込時点での同居、別居の別を○で囲んでください。
- ⑦ 働いているかたは勤務先、働いていないかたは、“なし”と記入してください。
- ⑧ 収入のあるかたの年間総所得金額を記入してください。

（市・府民税課税所得証明書の「所得合計金額」又は、市・府民税特別徴収税額の通知書の「総所得金額」欄の金額、給与所得の源泉徴収票の場合は「給与所得控除後の金額」です。）

- ⑨ 控除区分に該当するかたは、○で囲んでください。

寡	—	寡婦（夫）控除
老配	—	老人控除対象配偶者控除
老扶	—	老人扶養控除
障	—	障害者控除
特障	—	特別障害者控除
特扶	—	特定扶養控除

- ⑩ 住宅には同居されないが、申込者が現に所得税法上の扶養控除の適用を受けているかたがおられる場合は、そのかたについても記入してください。
- ⑪ ⑩のかたの住所を記入してください。
- ⑫ 控除対象者の人数を記入してください。
- ⑬ 現在の住宅の状況を記入してください。

※ 年間総所得金額を記入してください。

※ 控除額を記入してください。控除の種類と控除額は、10ページをご覧ください。

※ 記入例は、配偶者、子ども1人で同居及び扶養親族が2人と障害者控除（38万円＋38万円＋27万円＝103万円）となります。

※ 計算後の申込家族の月収額を記入してください。

資料 3

様式第1号 (第4条関係)

※の欄は記入しないでください。

市営住宅入居申込書

市営住宅名	※ 受付	※ 抽選番号
① 牧落住宅108号		

(あて先) 箕面市長

② 平成29年12月〇〇日

この申込書の記載内容が事実と相違するときは申込みを無効とされても異議のないことを誓約し、暴力団員であるかどうかについて箕面警察署長の意見を聴くことに同意の上、次のとおり申し込みます。

③

募集種別	<input checked="" type="checkbox"/> 一般		<input type="checkbox"/> 高齢者・障がい者 (<input type="checkbox"/> 車いす常用・ <input type="checkbox"/> その他)						
申込者	住所 (〒 562 - 0003)	箕面市西小路4-6-1							
	フリガナ	ミノオ タロウ							
氏名	フリガナ	箕面太郎 (箕面) ④							
	個人番号 (〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇)	電話 () - ()							
⑤ 市営住宅に入居しようとするかた	フリガナ	続柄	生年月日	年齢	同居別居の別	勤務先(会社名)	就職年月	年間総所得金額	控除区分 (〇で囲む。)
	氏名	本人	昭和 46. 5. 1	46	⑥	⑦ 勤務先を記入	平成4年4月	⑧ 2,920,000 円	寡・障 老配・老扶 特障・特扶 ⑨
	氏名	妻	昭和 49. 6. 1	43	同・別	なし		0 円	寡・障 老配・老扶 特障・特扶
	氏名	子	平成 14. 8. 1	15	同・別	中学生		0 円	寡・障 老配・老扶 特障・特扶
	氏名				同・別				寡・障 老配・老扶 特障・特扶
	氏名				同・別				寡・障 老配・老扶 特障・特扶
	氏名				同・別				寡・障 老配・老扶 特障・特扶
遠隔地扶養親族氏名 ⑩				住所 ⑪					
控除対象者	同居及び扶養親族	寡婦(夫)	老人控除対象配偶者	老人扶養	障害者	特別障害者	特定扶養		
	⑫ 2 人	人	人	人	1 人	人	人		
年間総所得金額		控除額		申込家族の月収額					
2,920,000 円		-		1,030,000 円		÷ 12 =		157,500 円	

次の(1)から(5)までの質問にお答えください。(当てはまるものに〇印をつけ、必要事項を記入してください。)

⑬

(1) いま住んでいる住宅の種類 ア 自宅 イ 親族の持家 ウ 借家(アパート・文化住宅 マンション 一戸建) エ 社宅・寮 オ 公営住宅 カ 公社・公団住宅 キ その他 ()	(4) 申込者と市営住宅に入居しようとするかたの中に家屋の所有者が ア いる イ いない (注) アに〇印をされたかたは、市営住宅入居前に市営住宅に入居しようとするかた以外に所有権を移転する必要があります。
(2) 家賃 84,000 円	(5) 住宅に困っている理由 ア 住宅が古く傷んでいる イ 災害の危険がある ウ 通勤に不便 エ 他の世帯と同居している オ 住宅が狭い カ 設備が不十分
(3) 現在の家族構成 3 人 (本人 配偶者 子ども 父・母 兄弟姉妹・その他 ())	キ 正当な理由による立退きの要求を受けている ク 家賃が高い ケ 高齢者世帯と親族との近居を希望 コ その他